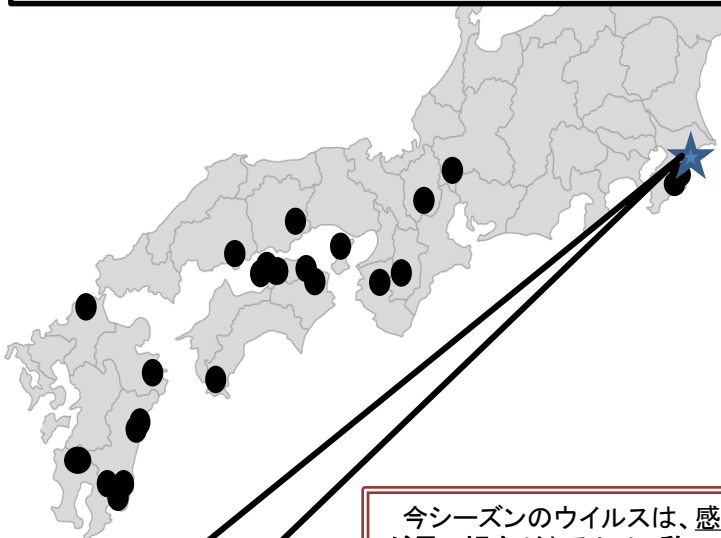


千葉県のおひる農場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認！（国内37例目）

1月21日、千葉県横芝光町のおひる農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI H5亜型)の疑似患畜が確認されました。国内37例目の発生となります。

引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底、強化をしてください。

愛玩用の家きん飼育者のみなさまにおかれましても、消毒の励行、野鳥・野生動物侵入対策をお願いします。



★37例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 千葉県横芝光町
- ・飼養状況 おひる 約6000羽
- ・疫学関連農場: 北海道赤平市(1農場)、宮城県角田市(1農場)、茨城県古河市(2農場)、茨城県かすみがうら市(1農場)、埼玉県行田市(1農場)、埼玉県春日部市(1農場)、大阪府松原市(1農場)、奈良県御所市(1農場)

【経緯】

- ・1月20日、産卵率低下の通報を受け千葉県が立入検査を実施し、簡易検査で陽性を確認。
- ・1月21日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。
- ・発生農場から疫学関連農場に移動した飼養家さんについても防疫指針に基づき疑似患畜と判定。

今シーズンのウイルスは、感染してから死亡するまでの期間が長い傾向があるため、鶏の症状に注意を払う必要があります。特に次の症状に要注意！

- 突然死や元気消失、死亡羽数の増加
- とさかの変色、チアノーゼ(青黒っぽくなる)
- 鶏の顔が腫れる



千葉県横芝光町 (37例目)

今シーズンは多量の鳥インフルエンザウイルスがあちこちに！



でも...

農場・人・物・車両の消毒等により、ウイルス量を一定量以下まで減らせば、**感染を防ぐ**ことが可能です。



※農研機構の試験において、 10^5 EID₅₀では鶏が死亡し、 10^4 EID₅₀では死亡しない結果。(1EID₅₀：発育鶏卵の半分を感染させるウイルス濃度)

徹底的な消毒で、この渡り鳥の飛来シーズン乗り越えられるよう、関係者が連携し、**頑張りましょう！！**

